$$\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}(G)\right) = \frac{1}{N^2}\widehat{V}\left(\widehat{Y}(G)\right) \tag{26}$$

を用いればよいことが分かる。

### 2 率の標準化について

### 2.1 直接法による有病率の標準化

調査地域 j(j=1,...,m) における有病率の推定値を  $\widehat{Y}_j$  と標記する。  $\widehat{Y}_j$  は層の重み付け平均として求めたが、このように求められた有病率は粗有病率で重みの影響(つまり、その地域の年齢分布および性別割合)を受ける。有病率から年齢と性の影響を除く方法として率の標準化がしばしば用いられる。標準化には直接法と間接法があり、直接法による標準化を考える。 $P_h$  を層 h の標準人口とすると、直接法により標準化された有病率  $\widehat{Y}_j^{(S)}$  は

$$\widehat{\overline{Y}}_{j}^{(S)} = \frac{\sum_{h=1}^{H} P_{h} \widehat{\overline{Y}}_{hj}}{\sum_{h=1}^{H} P_{h}}$$

$$= \sum_{h=1}^{H} e_{h} \widehat{\overline{Y}}_{hj} \tag{27}$$

で与えられる。ここで、 $e_h = rac{P_h}{\sum P_h}$ とする。

$$\widehat{\overline{Y}}_{j}^{(S)}$$
 の標準誤差 $\widehat{SE}\left(\widehat{\overline{Y}}_{j}^{(S)}
ight)^{n}$ は、

$$\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_{j}^{(S)}\right) = \widehat{V}\left(\sum_{h=1}^{H} e_{h}\widehat{\overline{Y}}_{hj}\right)$$

$$= \sum_{h=1}^{H} e_{h}^{2} \widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_{hj}\right)$$

$$= \sum_{h=1}^{H} e_{h}^{2} \left(\frac{N_{hj}}{N_{j}}\right)^{2} (1 - f_{hj}) \frac{s_{hj}^{2}}{n_{hj}}$$

$$= \sum_{h=1}^{H} e_{h}^{2} a_{hj}^{2} (1 - f_{hj}) \frac{s_{hj}^{2}}{n_{hj}}$$

から、

$$\widehat{SE}\left(\widehat{\overline{Y}}_{j}^{(S)}\right) = \sqrt{\sum_{h=1}^{H} e_{h}^{2} a_{hj}^{2} (1 - f_{hj}) \frac{s_{hj}^{2}}{n_{hj}}}$$
(28)

ここで、 $a_{hj}^2=\left(rac{N_{hj}}{N_j}
ight)^2$ 、 $s_{hj}^2$  は調査地域 j の層 h の分散の推定値で、

$$s_{hj}^{2} = \frac{\sum_{i=1}^{n_{hj}} \left( y_{hij} - \widehat{\overline{Y}}_{hj} \right)^{2}}{n_{hj} - 1}$$

又、 $\widehat{\overline{Y}}_{hj}$  は調査地域 j の層 h の有病率の推定値で

$$\widehat{\overline{Y}}_{hj} = \frac{\sum_{i=1}^{n_{hj}} y_{hij}}{n_{hj}}$$

とする。

### 2.2 モデルとしての標準化について

前セクションで標準化によって有病率から年齢と性の影響が除かれると述べたが、影響が除かれる理由をこのセクションで考える。地域 j、層 h における有病率を  $\lambda_{hj}$  と表す。前のセクションで示したように、直接法によって標準化された地域 j の率  $\lambda_i^{(S)}$  は、 $P_h$  を層 h の標準人口とすると

$$\lambda_{j}^{(S)} = \frac{\sum_{h=1}^{H} P_{h} \lambda_{hj}}{\sum_{h=1}^{H} P_{h}}$$

で与えられる。ここで、地域j、層hの"率" $\lambda_{hj}$ にたいして

$$\lambda_{hj} = \exp\left\{\mu + \alpha_h + \beta_j\right\} \tag{29}$$

という対数線形モデルが成り立つと仮定する。このモデルを

$$\lambda_{hj} = \exp \{\mu + \alpha_h + \beta_j\}$$

$$= \exp \{\mu + \alpha_h\} \exp \{\beta_j\}$$

$$= \theta_h \phi_j$$
(30)

と書き直すと、直接標準化した率は

$$\lambda_{j}^{(S)} = \frac{\sum_{h=1}^{H} P_{h} \lambda_{hj}}{\sum_{h=1}^{H} P_{h}}$$

$$= \frac{\sum_{h=1}^{H} P_{h} \theta_{h} \phi_{j}}{\sum_{h=1}^{H} P_{h}}$$

$$= \chi^{(S)} \phi_{j}$$
(31)

地域固有の効果  $\phi_j$  と層に関する効果  $\chi^{(S)} = \frac{\sum P_h \theta_h}{\sum P_h}$  の積で表現される。このモデルの下では、標準化された 2 つの率の比較は

$$\frac{\lambda_j^{(S)}}{\lambda_k^{(S)}} = \frac{\chi^{(S)}\phi_j}{\chi^{(S)}\phi_k} = \exp\left\{\beta_j - \beta_k\right\}$$
 (32)

と、層および標準人口に依存している部分  $\chi^{(S)}$  に影響を受けないことが分かる。この比較が妥当かどうかは、モデル  $\lambda_{hj}=\exp\left\{\mu+\alpha_h+\beta_j\right\}$  が正しいかどうかに依存する。例えば各地域における層別の率が大きく異なる時、 $\alpha_h$  と

 $eta_j$  の相互作用が無視できないと考えら、 $\frac{\lambda_j^{(S)}}{\lambda_k^{(S)}}$  から層の影響が除けないことになる。相互作用が無いと仮定するのは、 $2\times 2\times H$  の分割表から Mantel-Haenszel の共通オッズ比を推定する際の H 個のオッズ比の Homogeneity の仮定に相当している。

### 3 情報の統合

メタ解析は情報統合 (combining information)の統計手法としてよく用いられる (American Statistical Association 1992)。今回の調査では、複数の地域において複数の層で有病率な有病数が推定される。本節では、複数の推定値(有病率推定値)を"情報"と捉え、メタ解析の手法を用い推定値を統合する方法を解説する。メタ解析では、各推定値に「重み」をつけた重み付け平均を用いて推定値を統合する。様々な「重み」を考えることができるが、メタ解析では使用する「重み」の違いで、固定効果モデルとランダム効果モデルの2つの方法に分類することがある。

固定効果モデルを想定して複数の推定値を統合するのが比較的簡単なので、その計算法を最初に解説する。固定効果とランダム効果の違いは、個々の推定値のバラツキの捉え方の違いによる。ランダム効果モデルでは、推定の対象が「ランダム」に選ばれ推定値自身がランダム変数で測定誤差とは別にバラツキをもつと考える。一方固定効果モデルでは、各推定値のバラツキは、測定誤差として扱われる。

### 3.1 固定効果モデルによる推定値の統合

今 K 個の対象を考える。この対象は例えば調査地域であったりするが、その対象に対して何らかの推定値(例えば対象となっている地域の有病率)が得らているとする。k 番目 (k=1,...,K) の対象に対して得られる推定値を $\widehat{Y}_k$  と標記する。各推定値  $\widehat{Y}_k$  を統合した推定値を統合推定値と呼ぶことにする。統合推定値は通常重み付け平均として求める。固定効果モデルの下での統合推定値を  $\widehat{Y}_F$  と書き、

$$\widehat{\overline{Y}}_F = \frac{\sum_{k=1}^K \omega_k \widehat{\overline{Y}}_k}{\sum_{k=1}^K \omega_k}$$
(33)

と定義する。ここで  $\omega_k$  は"重み"とする。通常、重み  $\omega_k$  は各推定値  $\widehat{\overline{Y}}_k$  の分散の推定値  $V_k=\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_k\right)$  の逆数  $\omega_k=\frac{1}{V_k}$  が用いられる。重み付け平均  $\widehat{\overline{Y}}_F$  の分散は

$$V\left(\widehat{\overline{Y}}_F\right) = \frac{1}{\sum_{k=1}^K \omega_k} \tag{34}$$

で与えられる。例えば  $\widehat{\overline{Y}}_k$  を調査地域 k の有病率推定値とすると、式 18 から  $V\left(\widehat{\overline{Y}}_k\right)=\frac{1}{N_k^2}\sum_{h=1}^H(1-f_{kh})n_{kh}s_{kh}^{2(w)}$  が得られるので  $\omega_k=1/V_k=1/\left(\frac{1}{N_k^2}\sum_{h=1}^H(1-f_{kh})n_{kh}s_{kh}^{2(w)}\right)$  を用いて計算できる。又、K 個の地域有病率  $\widehat{\overline{Y}}_k$  の統合ではなく、調査地域 k の層 k の有病率の統合も考えられる。調査地域 k の層 k の推定値を  $\widehat{\overline{Y}}_{kh}$  とし、 $\left(\widehat{\overline{Y}}_{1h},..,\widehat{\overline{Y}}_{kh},...,\widehat{\overline{Y}}_{Kh}\right)$  の統合推定値を  $\widehat{\overline{Y}}_{hF}$  とすれば、

$$\frac{\widehat{\overline{Y}}_{hF} \frac{\sum_{k=1}^{K} \omega_{hk} \widehat{\overline{Y}}_{kh}}{\sum_{k=1}^{K} \omega_{hk}}}$$
(35)

と定義する。ここで重み  $\omega_{hk}$  は調査地域 k の層 h に対する重みで式 7 から  $\widehat{\widehat{Y}}_{kh}$  の分散

$$\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_{kh}\right) = \frac{1}{N_{hk}^2} (1 - f_{hk}) n_{hk} s_{hk}^{2(w)}$$
(36)

の逆数  $\omega_{hk}=1/\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_{kh}
ight)$  を用いて計算できる。

### 3.1.1 各推定値の同一性評価

各推定を統合して統合推定値を算出する前段階として、各推定値が等しい (homogenious) かどうか検討することが可能である。各推定値が等しいとの 仮定の下で、統計量

$$Q = \sum_{k=1}^{K} \omega_k \left( \widehat{\overline{Y}}_k - \widehat{\overline{Y}}_F \right)^2 \tag{37}$$

は近似的に (K-1) の自由度をもつ  $\chi^2_{(K-1)}$  分布に従うことが知られているので、この検定を用い各地域の有病率推定値の homogeniety の検討の参考とする。但し、この検定から得られる結果は参考材料としてのみ用いる (Sutton, Abrams, et.al.2000、 p 3 9 )。

### 3.2 ランダム効果モデルによる推定値の統合

 $\operatorname{DerSimonian}$  and  $\operatorname{Laird}(1986)$  のランダム効果モデルを考える。推定値 $\widehat{\overline{Y}}_k$ をランダム効果モデル

$$\widehat{\overline{Y}}_k = \theta_k + e_k$$

として捉える。ここで  $\theta_k$  は対象 k の真の値で平均  $\theta$ 、分散  $\tau_\theta^2$  の正規分布に 従うと仮定し  $\theta_k ^{\sim} N(\theta, \tau_\theta^2)$  と標記することにする。同様に  $e_k$  は対象 k の推定 誤差で  $e_k ^{\sim} N(0, V_k)$  と仮定する。ただし  $V_k = \hat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_k\right)$  である。ランダム効果 モデルの下での統合推定値も固定効果モデルと同様重み付け平均として求めるが、重みが固定効果モデルの場合と異なる。ランダム効果モデルでの統合推定値を  $\widehat{\overline{Y}}_R$  と書き、

$$\widehat{\overline{Y}}_R = \frac{\sum_{k=1}^K \omega_k^* \widehat{\overline{Y}}_k}{\sum_{k=1}^K \omega_k^*}$$
(38)

と定義する。ここで $\omega_k^*$ は対象kの重みで

$$\omega_k^* = \frac{1}{(\upsilon_k + \widehat{\tau}_\theta^2)}$$

で与えられる。ここで、 $V_k=\widehat{V}\left(\widehat{\overline{Y}}_k
ight)=rac{1}{\omega_k}$ 。また  $\widehat{ au}_{ heta}^2$  は以下の推定値を用いる。

もしQ > K-1の時は

$$\widehat{\tau}_{\theta}^2 = (Q - K + 1)/U$$

ここで、

$$U = (K - 1) \left( \overline{\omega} - \frac{s_{\omega}^2}{mK\overline{\omega}} \right)$$

で与えられ。ただし、 $\overline{\omega}$  と  $s_{\omega}^2$  は  $\omega_j$  の平均と標本分散で

$$\overline{\omega} = \frac{\sum_{k=1}^{K} \omega_j}{K}$$

$$s_{\omega}^2 = \frac{1}{(K-1)} \left( \sum_{k=1}^{K} \omega_k^2 - K \overline{\omega}^2 \right)$$

である。

ランダム効果モデルの下での統合推定値 $rac{\widehat{Y}}{Y_R}$ の分散は

$$V\left(\widehat{\overline{Y}}_{R}\right) = \frac{1}{\sum_{k=1}^{K} \omega_{k}^{*}} \tag{39}$$

で与えられる。

認知症および MCI の全国有病率推定は上記の方法を用いて行った。

### 3.3 その他の推定

その他の推定値として年齢別、(年齢別、性別)の認知症および MCI 有病率の全国推定値の算出した $^3$ 。更には世帯別の有病率の統合も行った。算出方法は、各地域における層 s(1,2,...,M) の有病率推定値とその標準誤差推定値をそれぞれ $\widehat{Y}_s$ 、 $\widehat{se}(\widehat{Y}_s)$  と標記すると、式 38 を用い各層ごとにランラム効果モデルを仮定してメタ解析による地域ごとの推定値を統合した。但し、各地域の層別推定値は標本数が小さいことから標準誤差がゼロであったり、あるいは該当者なおらず推定不可能の場合がある。このような場合は統合に際し計算から除外した。

(参考文献)

Combining Information: Statistical Issues and Opportunities for Research. D.Draper, D.P. Gaver, Jr. P.K. Goel, J.B. Greenhouse, L.V. Hedges, G.N. Morris, J.R. Tucker, C.M. Waternaux. American Statistical Association (Comtemporary Statistics Number 1) National Academy Press, Washington, D.C. 1992.

Der Simonian,<br/>R., Laird N. (1986). Meta-analysis in clinical trials. Controlled Clinical Trials<br/>  $7\colon\,177\text{-}88.$ 

# 都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応

## 認知症有病率

- 調查票 個別管理表
  - · CDR 家族面接用紙
  - •1次調查用紙
  - ・2 次調査診断サマリー

個別管理票・つくば市		Dシール語体	/貼付		
被験者は1次調査を受けしましたか? □はい ▶実施日:年月_	Щ	田当者			
□いいえ ►受けなかった理由: □拒否/同意撤回 □病気 □部合が悪くなった(病気以外)			口管理側の問題、 口その他 (	・登録の誤り	^
<b>被験者は2次調査を受けしましたか?</b> □はい ▶実施日:	ш	祖当者:			
□いいえ ▼受けなかった理由: □非該当 □相否/同意撤回 □病気			□都合が悪くなった(病気以外) □管理側の問題、登録の誤り □その他(	った (病気以外) ・登録の誤り	^
被験者は採血検査を受けしましたか? □はい ▶実施日:年月_	Ш	田当者:			
□いいえ ▼受けなかった理由: □非該当 □拍否/同意撤回 □病気			□都合が悪くなった(病気以□管理側の問題、登録の誤り □を理側の問題、登録の誤り □その他(	った(病気以外) ・登録の誤り	^
<b>被譲者は MRI 検査を受けしましたか?</b> □1ない ▶実施日:年月_					
<ul><li>□いいえ</li><li>▼受けなかった理由:</li><li>□非該当</li><li>□指否/同意撤回</li><li>□病気</li></ul>			□都合が悪くなった(病気以外) □管理側の問題、登録の誤り □その他(	った(病気以外) . 登録の誤り	~

口有料老人ホーム入居

口自宅で独居

□医療機関入院中 ▶医療機関名:

▼施設名:

口その他

口施設入所中

□自宅で家族と同居

■被験者の世帯状況

■被験者の最終学歴

■被験者の教育年数

■被験者の婚姻状況

口死別

口卒業 口中退

■CDR 情報提供者 \*代理回答者は職種などを記載 例)民生委員,ケアマネージャー,地区班長

▶その他の内容:

□実子の配偶者(嫁または婿):同居・別居(○をつける)

口代理回答者:

口その他:

□実子:同居・別居 (○をつける)

口本人の配偶者

全国認知症有病率調查

□要介護1 □要介護2 □要介護3 □要介護4 □要介護5

□未申請・自立 □要支援1 □要支援2

■要介護度認定

全国認知症有病率調查

CDR家族面接用紙 ■実施日: ロシール階分

■記入者

# 皿

Ш

【はじめの挨拶】

こんにちは、初めまして。

(自分の専業所名) から参りました○○と申します。

この度、全国的な規模で、もの忘れの予防に関する厚生労働省の事業が行われます。 つくば市でも住民の約900名の方々にご協力いただくことになりました。今日はその ことで参りました。 事前にお手紙でもお知らせしておりますが、△△さんは抽選の結果、この事業の参加 者に選ばれました。誠に恐れ入りますがぜひご協力をお願いいたします。

# 【調査内容の説明と承諾書】

今日は、ご家族の方から△△さんの普段のお暮らしぶりについてお伺いいたします。 それから次に、1ヶ月くらい後になりますが、今度は△△さんに筑波大学にお越しい この事業ではどういうことを行うかについて、まず、説明させていただきます。 ただきたいと存じます。 はじめの挨拶と調査内容の説明は、承諾書を取得する際に家族が同席している場合は 繰り返さなくて良い。

この調査用紙は1次面接の時にも続けて使用する。

# 家族からの情報

■質問にお答えいただいた方 \*代理同答者は職種などを記載 例) 民生委員

□本人の妻または大       □同昂の戈子       □同昂の戈子の配偶者(嫁または婿)         □独居者(代理回答者:       )         □たの他(       )	
<u>記 憶</u> ■普段の生活において、物忘れがありますか □はい □いいえ	
<ul><li>■ (上の質問で「はい」の場合)もし物忘れがあるなら、それは 一貫して毎日(もしくは数日おきに)続くことですか □はい □いいえ</li></ul>	
■昨年に比べ,記憶が幾分悪くなりましたか □はい □いいえ	
<ul><li>■物忘れは、それまで行っていた生活に支障をきたすほどですか □はい □いいえ</li></ul>	
<ul><li>■数週間前の大切な出来事(例えば旅行,家族の結婚式など)をきちんと覚えていますか 口覚えている □出来事は覚えているが、細かい部分は忘れている □出来事は覚えている。</li></ul>	
<ul><li>■遠い昔の大切な記憶(例えば誕生日,結婚した日,仕事をしていた場所など)を完全に覚えていますか</li><li>□覚えている</li><li>□ときどき忘れる</li><li>□いつも忘れている</li></ul>	T/D
<ul><li>見当職</li><li>■目にちを聞かれたら正しく答えられますか</li><li>□いつも答えられる</li><li>□ときどき答えられないことがある</li><li>□まれに答えられる</li><li>□ほとんど答えられない</li></ul>	

■いろいろな出来事の,時間的順序(先週の出来事と,先月の出来事の順序)を理解	■以産管理や仕事上の処理(保険・商売上の取引などの能力)は
できますか	できますか
□いつも理解できる	□以前からしていない(自主的に息子などに譲った場合も含む)
□ときどき理解できない	□以前と変わらず行っている(心配なく任せられる)
□理解できない	ロ少し低下(心配なので,家族が確認している)
	口全くしなくなった
■慣れた場所で正しい道を見つけられますか(近所の買い物や,	
用事などで道に迷わない	地域社会活動
□いつも迷わない	■移動はどのようにしていますか
□ときだき迷う	口電車、バス、タクシー、白家用車に乗って遠方にも出かけている
口迷う	口近隣とは行き米している
	□家の周辺のみ(散歩など)
■家の中で迷わず移動できますか(トイレや自分の部屋,台所との行き来など)	□屋内のみ
口いつも迷わない	
口ときどき迷って自分の部屋がわからない	■農作業などで使う道具の手入れや後始末はできますか
□いつも迷うので,誘導が必要	口以前からしていない
	口以前と変わらず行っている
■家より遠い所,例えば,つくば市から東京へどうやって移動するか説明できますか	□少し低下(心配なので,家族が確認している)
□いつも答えられる	□全くしなくなった
口ときどき答えられないことがある	
□まれに答えられる	■近所の方とのお茶のみ・老人会の活動などに参加していますか
□ほとんど答えられない	口以前からしたいない
	口以前と変わらず自分から行っている
判断力と問題解決	□他の人に勧められれば、参加する
■家庭内の緊急事態への対処(水道の水漏れ、小さい火災など)はできますか	口全くしなくなった
口以前から対処は上手ではない	
□以前と変わらず対処している (元柱を締めて, 水道局に電話するなど)	■もし、ある人がご本人の行動を見た場合、その人がご本人を病気だと思うほどの行
口少し下手になった (心配なので,家族が確認している)	動をすることがありますか
□全く対処できない	はい   しいいえ
■買い物はできますか	家庭生活および趣味・関心
口以前からしていない	■料理についてこれから申し上げるようなことができるかどうか
口以前と変わらず行っている	数えてください
□付き添いが必要,後から家族がお金を払う	・献立を考えること
口全くしなくなった	□以前からしていない □以前と同様にできる □低下
	・味付けと盛り付け
	□以前からしていない □以前と同様にできる □低下

— 140 —

口低下

□以前と同様にできる

口以前からしていない

・包丁などの道具使用

### 9

民
3
≅
AIIIN
1
ノー
1

口魚下

□以前と同様にできる

・賞味期限、冷蔵庫の中を清潔に保つこと

■料理について (続き)

口以前からしていない

□ときどき失敗するので,家族とともに行う

□危なくてさせていない

□以前と変わらず1人で行っている

口以前からしていない

・火気の取り扱い

	~
	\$7
	Ja
	#6
	حہ
	M
	6
	Ŕ
	4
	کہ
	RI
	Ŋ
	$\tilde{S}$
	14
	8
	٠ ا
	74
ı	新
	<b>世</b>
	75
	45
l	

	または食事中,
□すべて1人で行っている	口自分白身で摂取するが, 促しが必要。

汚す	
または食事中,	
促しが必要。	
□自分白身で摂取するが,	

□1人で食べることはできるが常に汚すので、介助が必要 ことがある

□常に介助

■トイレに行ったり、後始末をすることはできますか

□すべて1人で行っている

□ときどき誘導あるいは後始末に介助が必要

□まれに失禁 (尿失禁 便失禁)

便失禁 □頻繁(週に数回以上)に失禁する(尿失禁

■入浴はどのようにされていますか

□ すべた1 人で行ったいる

□声がけ・誘導を必要とする。自分でできるがしようとしない

口浴槽の出入りや洗髪などに, 一部介助を要する

ロすべて介助が必要

■衣類の着脱はどのようにされていますか

□すべて1人で行っている

□自分でできるが、衣類を用意する必要がある

□ 一部介助を要する

ロすべて介助が必要

□ときどき飲み忘れがあるので,家族が確認している □以前と変わらず行っている (心配なく管理できる)

□自分でできず,家族が管理している

■テレビや電子レンジ・炊飯器などの操作はできますか

□少し低下(心配なので,家族が確認している)

口全くしなくなった

□以前と変わらず行っている

口以前からしていない

■趣味活動のようなことはなさっていますか

□以前と変わらず行っている

口全くしなくなった

ロ少し低下

□もともと趣味はない

■化粧、髪や爪の手入れ、ひげそりなどの身だしなみはどのようにされていますか

口声がけ・誘導を必要とする。自分でできるがしようとしない □すべて1人で行っている

□一部介助を要する

□すべて介助が必要

【おわりの挨拶】

質問は以上です。

本日はご協力いただきまして誠にありがとうございました。

□木人だけではできないので、家族が手伝っている

口全くしなくなった

■お薬は決まった時間に決まった量を飲めますか

口以前から服薬していない

□少し低下(心配なので、家族が確認している)

■電話をかけたり受けたりすることはできますか

□以前と変わらず行っている

□1人で行うが不十分,後からやり直しが必要

□全くしなくなった

口必要な範囲で, すべて1人で行っている

口以前からしていない

■掃除・洗濯はできますか

もしいずれかの項目に「あり」、「異常」があった場合、必ず詳細を記入して下さい。リストにある項目 以外で身体に異常がなければ「11. その他」の「正常」にチェックを入れて下さい。		
	12. その色口に対しています。 12. その色	
1. 著しい視力、視野障害   口なし		
口あり(詳細:	()	
<ol> <li>者しい聴覚障害 口なし 口あり (詳細: )</li> </ol>		
3. 振戦   つなし   つあり(詳細:		
<ul><li>4. 意識レベル □正常 □異常 (詳細: )</li></ul>	(改訂版ハチンスキースコア	7
<ol> <li>5. 脳神経 □正常 □異常 (詳細:</li> </ol>	以下のリストにある、認知機能障害の て下さい。	以下のリストにある、認知機能障害の臨床的特性の各項目について「あり」「なし」にチェックを/ て下さい。
6. 筋力   口正常   口異常(詳細:	<ol> <li>認知症の急激な発症 口あり(2点) 口なし</li> </ol>	<ul><li>2. 段階的な悪化 口あり(1点) 口なし</li></ul>
7. 小脳 □正常 □異常(詳細:	3. 身体的歌え ロあり(1点) ロなし	4. 感情失禁 □あり(1点) □なし
8. 感覚 	<ol> <li>高血圧の既往 口あり (1点) 口なし</li> </ol>	6. 脳卒中の既往 □あり(2点) □なし
<ul><li>9. 深部反射 □正常 □異常 (詳細: )</li></ul>	7. 局所神経症状 ロあり(2点) ロなし	8. 局所神経学的徴候 □あり(2 点) □なし
10.バビンスキー徴φ 	■総得点 「あり」の項目の点数を合計して下さい。	ンて下さい。

全国認知症有病率調查

က

全国認知症有病率調查

# 二八十岁

Ţ	I
_	l
Y	I
Þ	I
5	I
<u>iii</u>	۱

4回の診断

■正常ですか?	こは口	□いいえ
■軽度のうつ状態ですか?	口はい	□いいえ
■軽度認知機能障害 (MCI)ですか? □はい	140	□いいえ

▶「ばい」(MCI) の場合、当てはまるものにチェックをして下さい。 □記憶障害あり

□記憶以外の認知機能障害あり

◆MCIの病因を選んで下さい。

ロアルシハイマー病による MCI □その他の病因による MCI

▶その他の病因による場合、病因を選択して下さい。(複数選択可)

口前頭側頭型認知症

ロパーキソンン病 ロハンチントン病 口進行性核上性麻痺

□皮質基底核変性症

ロプリオン関連型認知症 口脳血管性認知症

□その也 ▼「その也」の場合、詳細

◆Petersen の MCI クライテリアについて、各項目をチェックして下さい。 a. 主観的記憶障害(記憶障害の訴え)がある

口はい 情報提供者の裏付けのある記憶障害がある

ロはい ロいいえ ロどちらともいえない 全般的な認知機能は正常

□はい □いいえ □どちらともいえない

d. ADL が正常

口いいえ 年齢、教育年数に比して客観的記憶障害がある 口はい f. 診断基準に照らして認知症ではない □はい -認知症ではない □いいえ -認知症である

一番当てはまるものにチェックして下さい。 ▶「はい」(パーキンソニズムあり)の場合、診断を以下から1つ選んで下さい。 口いいえ 口認知症ではない認知機能障害を伴うパーキンソニズム □認知症による認知機能障害を伴うパーキンソニズム □いいえ □いいえ ▶ 「possible AD」の場合、理由を選んで下さい 口はい ▶ probable AD と possible AD どちらですか、 □probable AD □possible AD ▶ 「probable AD」の場合、他の徴候は? □認知機能障害の無いパーキンソニズム ▶「はい」(アルツハイマー病)の場合、 : 累批) : 課批) しない : 課批) : 課批) 口非典型的臨床経過や特徴(詳細 ■パーキンソニズムがありますか? 口代謝性/中毒性障害 口代謝性/中毒性障害 ロパーキンソニズム ロパーキンソニズム ■アルシハイマー病ですか? 口脳血管障害 口脳血管障害 口うつ症状 □うり症状 ■認知症ですか? ロせん妄 □ 本の街 ロせん弦 口その色 ロなし 口中等度 口軽度 □重度

▶認知症による認知機能障害を伴うパーキンソニズムの場合 □レビー小体型認知症 (DLB) □パーキンソン病とアルツハイマー病の合併 (PDAD) □パーキンソン病 (PD) □認知症を伴うパーキンソン病 (PDD) ▼非典型的パーキンンニズムの場合 ロシャイ・ドレーガー症候群 ロオリーブ橋小颬薬徭舶 口進行性核上性麻痺 口皮質基底核変性症 口線条体黒質変性症

□非典型的パーキンソニズム

口その街 口由管性

▼「その他」の場合、詳細

全国認知症有病率調查

全国認知症有病率調查

ß

AS-AIREN ICよる pa           A. 認知症がある。           a) 記憶障害と、空間機能、           b) 臨床的診察           c) 機能障害は身体障害は身体障害は保険外基準           (除外基準)           a) 神経心理学がない。           b) 記憶や認为           b) 記憶や認多           B. 監価管障差が           B. 監価管障差が           B. 監備管護差が	robable vascular dementia の診断基準 こ、次の認知機能のうち2つ以上の障害がある(見当識、注意力、 行動機能、運動統御、行為) なと神経心型学的検査の両方で確認することが望ましい は、日常生活に支障をきたすほど重症である。しかし、これは脳卒 よるものを除く は的検査を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失話、著名な感 が検査を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失話、著名な感 がをに、 解卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面 繁寒で、 解卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面 整候・感覚障害・半音・構音障害)がみられる
(c) (c) (c) (c) (c) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	い部知機能のうち2つ以上の障害がある(見当識、注意力、言語、 財機能、運動統御、行為) 指格心理学的検査の両方で確認することが望ましい 1常生活に支障をきたすほど重症である。しかし、これは脳卒中に基 5ものを除く 資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感覚運動 資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感覚運動 で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面神経麻・感覚障害・半音・構音障害)がみられる
(c) (c) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	いの認知機能のうち2つ以上の障害がある(見当識、注意力、言語、 J機能、運動統御、行為) 特征心理学的検査の両方で確認することが党ましい 1常生活に支障をきたずほど重症である。しかし、これは脳卒中に基 5ものを除く 資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感覚運動 資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感覚運動 資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感覚運動 で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面神経麻・感覚障害・半音・構音障害)がみられる
(c) (c) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	<ul> <li>財権に、運動統御、行為)</li> <li>†経心理学的検査の両方で確認することが役ましい</li> <li>ものを除く</li> <li>きむのを除く</li> <li>資本を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感音するを妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感音する全身性疾患や他の解疾患がない</li> <li>で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半音・構音障害)がみられる</li> </ul>
(3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	F経心理学的検査の両方で確認することが望ましい に常生活に支障をきたすほど重症である。しかし、これは脳卒 さものを除く 食者を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感 音告する全身性疾患や他の解疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半音・構音障害)がみられる
30 条(2) 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	1常年活に支障をきたすほど重症である。しかし、これは脳卒らものを除く 5ものを除く 6者を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感 8者する全身性疾患や他の脳疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
(c) (c) (c) (z) (z) (z) (z) (z) (z) (z) (z) (z) (z	5ものを除く 6査を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失話、著名な感 2書する全身性疾患や他の脳疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片・麻痺・下部顔面・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
(大文) (c) (c) (z)	§査を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失話、著名な感害者する全身性疾患や他の解疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
(e (c)	資在を妨げる意識障害、せん妄、精神病、重症失語、著名な感 資害する全身性疾患や他の解疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
(c	賞書する全身性疾患や他の脳疾患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・ ・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
(c	音岩する全身性状患や他の脳状患がない で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・ ・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
	で、脳卒中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
	:的診察で、脳牟中の際にみられる局所神経症候(片麻痺・下部顔面神経麻痺・ ski 徴候・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
a) 神経点	ski 徴候・感覚障害・半盲・構音障害)がみられる
b) 影画像	脳画像(CT・MRI)で明らかな多際件の大種策 重要な領域の単発種選 多際件の基
, –	■でいたがからいます。 自質の病変を認める
C. 上記の両:	- 記の両者に関連がみられる。 F 記 a) ないし b)の両者、またはいずれかを満足する
a) 明らか	明らかな脳血管障害後3か月以内に認知症が起こる
b) 認知機	認知機能が急激に低ドするか、認知機能障害が動揺性ないし段階的に進行する
そのもの認	■その他の認知症ですか?(アルツハイマー病を除く) □はい □いいえ
(1#)」 ▲	8知症)の場合、最も考えられる診断
ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	山町銀色塩分路 カース・アン・アン ボーン・アン・アン ホーン・アン・アン・アン・アン・アーフ・アン・アージ アン・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・
ロストリロ ロメウロ ログウン リストン リニュー	コボ冷圧が現近 コ大うつ病 ログリケン症候群 コプリオン関連型
□n1V 倒進空□原発性進行□後部皮質機	UnlV例進空 □原発性進行性失語症 □後部皮質機能障害(Posterior Cortical Dysfunction)
□から街▼「から	その也「その也」の場合、詳細

□いいえ

こない

■脳血管性認知症ですか?

全国認知症有病率調查

7

都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応

### 巻 末 資 料

## 認知症の生活機能障害

- ・中等度 AD 患者を想定した評価票
- ・グッドプラクティス (テーマ:食事)

10) 開錠する

11) 外へ出る

0211001 開錠する 0211099 その他

0211101 外へ出る 0211199 その他

I 歩行・移動:多くのADLの出発行為:行為行動の最初に来る 生理機能 歩行能力 目的地点に行くこと 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 0101 方向感覚: ナビゲーション Ⅱ 排泄 Ⅱ-1大便 生理機能 便意がある、それがわかる 概念 大便排泄はトイレで行うものである 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST stage (4を記入) 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか 1) トイレに行く 0210101 移動 0210102 トイレのドアを開ける 0210103 | イレに入る 0210104 便器に至る 0210105 施錠する 0210199 その他 2) 下半身の衣類を下げる 0210201 ベルト・ホック・ボタン・ファスナーなどを外す・下す 0210202 ズボン・スカート、下着などを適切な高さまで下す 0210299 その他 3) 便器の扱い 0210301 蓋を開ける 0210302 便座に座る 0210303 便座に腰を下ろす 0210304 体 (お尻やペニス・会陰部) と便器の位置関係 0210399 その他 4) 排泄する 0210401 排便行為: いきむ 0210402 動かない: 迷入 0210403 出し切る 0210499 その他 5) 後始末 0210501 紙でお尻を拭く 0210502 立ち上がる 0210503 トイレットペーパーを見つける 0210504 適切な長さまでペーパーを引き出す 0210505 引き出したペーパーを切る 0210506 幾重にか畳む 0210507 畳んだペパーでお尻を拭く 0210508 拭き終わったペーパーを便器内に捨てる 0210599 その他 6) ウオシュレットでお尻を洗い流す 0210601 操作ボタンを押す 0210602 水流の方向にお尻を位置させる 0210603 適切な時間、静止し続ける 0210604 立ち上がる 0210699 その他 7) 排泄物を流す 0210701 ハンドル・ボタンの操作 0210799 その他 8) 下半身の衣類を身に着ける 0210801 両脚を中に入れられるか? 0210802 ボタン、ファスナーなどをかけられるか? 0210899 その他 9) 手洗い 洗手の行為 0210901 水道栓を回す 0210902 手を水流の下に位置させる 0210909 その他 石鹸をつける 0210911 石鹸つかむ 0210912 手全体に行き渡らせるべく広げる 0210913 液状石鹸を手につける 0210914 手全体に広げる 0210919 その他 すすぎ 0210921 蛇口の下に手を置く 0210922 全体を洗い流す 0210929 その他 手を拭く 0210931 タオル等に向かう 0210932 タオルで手を拭く 0210939 その他

概念

生理機能 尿意がある、それがわかる

小便排泄はトイレで行うものである 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST stage(4を記入) 1) トイレに行く 0220101 移動 0220102 トイレのドアを開ける 0220103 トイレに入る 0220104 便器に至る 0220105 施錠する 0220199 その他 2) 便器に向かう (男性のみ) 0220201 便器の正面に立つ 0220299 その他 3) 便器の扱い (女性のみ) 0220301 蓋を開ける 0220302 便座に座る 0220303 便座に対して体の各部を適切な位置につける 0220399 その他 4) 衣類を下ろす・衣類の一部を開く 0220401 ファスナーを下げる 0220402 下着の裏からペニスを取り出す 0220403 ペニスに手を当て便器に向ける 0220409 その他 0220411 スカート・ズボン等を下げる 0220412 下着を下げる 0220413 いずれも適切な位置で止める 0220414 尿道口を便器に対して適切な方向に向ける 0220419 その他 5) 排尿行為 0220501 いきむ 0220502 排尿中は動かない 0220599 その他 6)後始末(女性のみ) 0220601 ペーパー巻き取り 0220602 尿道口を拭く 0220603 拭いた紙を捨てる 0220699 その他 7) 水洗で流す 0220701 ボタンやハンドルの操作 0220799 その他 8) 大便と同様に衣類を身に着ける 0220801 両脚を中に入れる 0220802 ボタン、ファスナーなどをかける 0220899 その他 9) 手洗い 洗手の行為 0220901 水道栓を回す 0220902 手を水流の下に位置させる 0220909 その他 石鹸をつける 0220911 石鹸つかむ 0220912 手全体に行き渡らせるべく広げる 0220913 液状石鹸を手につける 0220914 手全体に広げる 0220919 その他 すすぎ 0220921 蛇口の下に手を置く 0220922 全体を洗い流す 0220929 その他 手を拭く 0220931 タオル等に向かう 0220932 タオルで手を拭く 0220939 その他 10) 開錠する 0221001 開錠する 0221099 その他 11) 外へ出る 0221101 外へ出る 0221199 その他

### Ⅲ 手を洗う

生理機能	生理機能はない
ADD A	/r-t-mo-1 /n+14

			各行為について中等度認知症者に特徴的な生活	その生活障害にどのようなケア	その生活障害がある
			障害の具体像	(介助) をしたら上手くいったのか	stage(4を記
1) 洗面の場(	行く、適切な	立置に立つ:身体とシンクの位置関係		(113)	Transfer ( ) date
,	030101	洗面の場に行く			
	030102	適切な位置に立つ			
	030199	その他			
2) 洗手の行	<u></u>				•
	030201	水道栓を回す			
	030202	手を水流の下に位置させる			
	030299	その他			
3) 石鹸をつけ	る				
	030301	石鹸つかむ			
	030302	手全体に行き渡らせるべく広げる			
	030303	液状石鹸を手につける			
	030304	手全体に広げる			
	030399	その他			
4) すすぎ					
	030401	蛇口の下に手を置く			
	030402	全体を洗い流す			
	030499	その他			
5) 手を拭く					
	030501	タオル等に向かう			
	030502	タオルで手を拭く			
	030599	その他			
衛生概念は保	1001100000	<u>'</u>			
			各行為について中等度認知症者に特徴的な生活	その生活障害にどのようなケア	
1) 洪天の根	- 〈ニノ 〉 ☆ JTI + 〉	カツニャッ・ウル レンンカの <b></b>	各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 障害の具体像	その生活障害にどのようなケア (介助) をしたら上手くいったのか	
1) 洗面の場に		立置に立つ:身体とシンクの位置関係   注表の4月にラン			
1) 洗面の場(	040101	洗面の場に行く			
1) 洗面の場(	040101 040102	洗面の場に行く 適切な位置に立つ			
	040101 040102 040199	洗面の場に行く			
1) 洗面の場(	040101 040102 040199	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他			
	040101 040102 040199	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す			
	040101 040102 040199 040201 040202	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す 手を水流の下に位置させる			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040299	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他			
	040101 040102 040199 6 040201 040202 040299 8ける: 掌に水	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を掬う			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040292 040299 2ける:掌に水	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 <b>を拘う</b> 両手をくつけて曲面を作る			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040292 040299 040301 040301 040302	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う  両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040292 040299 2ける:掌に水	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 <b>を拘う</b> 両手をくつけて曲面を作る			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040299 ける: 掌に水 040301 040302 040399	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040292 040299 040301 040301 040302	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う  両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040299 ける: 掌に水 040301 040302 040399	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を掬う 両手をくつつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040299 ける: 掌に水 040301 040302 040399	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 3 6 040201 040202 040299 1040301 040302 040399	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く			
2) 洗顔の行ね	040101 040102 040199 040201 040202 040299 040301 040302 040309 040401 040402 040402	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗っ			
2) 洗顔の行な 3) 手に水を気 4) 洗顔	040101 040102 040199 040201 040202 040299 040301 040302 040309 040401 040402 040402	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗っ			
2) 洗顔の行な 3) 手に水を気 4) 洗顔	040101 040102 040199 040201 040202 040299 040301 040302 040309 040401 040402 040402 040403 040403 040409	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を掬う  両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌部紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗う その他			
2) 洗顔の行な 3) 手に水を気 4) 洗顔	040101 040102 040199 3 6 040201 040202 040299 375 2: 掌に水 040301 040302 040309 040401 040402 040403 040409	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗う その他  蛇口の下に手を置く			
2) 洗顔の行な 3) 手に水を気 4) 洗顔	040101 040102 040199 3 6 040201 040202 040299 37 5 字に水 040301 040302 040309 040401 040402 040403 040409 040501	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を搾う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗う その他  蛇口の下に手を置く 全体を洗い流す			
<ol> <li>洗顔の行ね</li> <li>手に水を受</li> <li>洗顔</li> <li>すすぎ</li> </ol>	040101 040102 040199 3 6 040201 040202 040299 37 5 字に水 040301 040302 040309 040401 040402 040403 040409 040501	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を搾う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗う その他  蛇口の下に手を置く 全体を洗い流す			
<ol> <li>洗顔の行ね</li> <li>手に水を受</li> <li>洗顔</li> <li>すすぎ</li> </ol>	040101 040102 040199 3 6 040201 040202 040299 1473 : 第に水 040301 040302 040309 040401 040402 040403 040409 040501 040501 040509	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗っ その他  蛇口の下に手を置く 全体を洗い流す その他			
2) 洗顔の行ね 3) 手に水を受 4) 洗顔 5) すすぎ	040101 040102 040199 3 040201 040202 040299 040301 040302 040302 040401 040402 040403 040402 040403 040501 040501 040502 040599	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他  を搾う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗っ その他  蛇口の下に手を置く 全体を洗い流す その他  タオル等に向かう タオルで顔を拭く			その生活障害がある stage (4を記
2) 洗顔の行 <sup>2</sup> 3) 手に水を受 4) 洗顔	040101 040102 040199 040201 040202 040299 040301 040302 040302 040401 040402 040403 040402 040502 040502 040509	洗面の場に行く 適切な位置に立つ その他  水道栓を回す 手を水流の下に位置させる その他 を掬う 両手をくつけて曲面を作る 局面に水を受ける その他  石鹸が入ることも:掌に石鹸を行き渡らせて顔面 全体に広げる 掌の紙面を顔面に持って行く 掌で顔面を洗う その他  蛇口の下に手を置く 全体を洗い流す その他  タオル等に向かう タオルで顔を拭く タオルで手を拭く			

V 歯磨き

生理機能 生理機能はない 概念

			各行為について中等度認知症者に特徴的な生活	その生活障害にどのようなケア	その生活障害がある人のFAST
			障害の具体像	(介助) をしたら上手くいったのか	stage(4を記入)
) 洗面の場(		):歯ブラシが取り出せる、口がゆすげる	<u>,                                      </u>		
	050101 洗面の場				
	050102 適切な位	置に立つ			
	050199 その他				
) 歯ブラシの					
	050201 取り出す	: ブラシとペースト			
	050299 その他				
) ペーストを	歯ブラシに着ける				
	050301 チューブの	ふたを外す			
	050302 チューブを	しぼってペーストを出す			
	050303 ペーストを	ブラシに付ける			
	050304 一旦歯ブ	ラシを置く			
	050305 チューブに	ふたをする			
	050306 チューブを	元の位置に戻す			
	050399 その他				
) 歯を磨く					
	050401 歯ブラシを	:持つ			
	050402 口を開ける	3			
	050403 歯をブラッ	シングする			
	050404 歯ブラシを	置〈			
	050499 その他				
) ゆすぎの水	くを用意する				•
	050501 コップを手	に持つ			
	050502 水道栓を	回して水を出す			
	050503 コップで水	を受ける			
	050599 その他				
) 口をゆすぐ					•
	050601 コップの水	を吸い込む			
	050602 口の中を	ゆすぐ			
	050603 水を吐く				
	050699 その他				
) 歯ブラシを					I.
	050701 歯ブラシを	<b>すすぐ</b>			
	050702 ブラシの水				
		元の位置に戻す			
	050799 その他				

生理機能 食欲、咀嚼·嚥下機能	
-----------------	--

VI 食べる 概念 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 1) 食事の場に行く: 歩行・移動 060101 歩行・移動する 060199 その他 2) 適切な位置に座る: 体と椅子・机の位置関係 060201 適切な位置に座る 060299 その他 3) 食物の認識 060301 食物だとわかる 060302 その性状(温度、新鮮さ、堅さなど)がわかる 060399 その他 4) 平皿の上の食物の操作 060401箸、スプーン類で切る、裂く060402箸、スプーン類でつかむ、乗せる 060499 その他 5) 口まで運ぶ 060501 箸、スプーン類を口まで運ぶ 060502 口を開けて食物を受ける 060599 その他 6) ご飯と汁物を口に入れる 060601 茶碗を持つ 060602 茶碗を口元に近づける 060603 060699 その他 7) 咀嚼・嚥下する 060701 咀嚼 060702 嚥下 060703 吸う 060799 その他 8) 総合評価 食品を万遍なく摂取するか? 060801 食品を万遍なく摂取する 060809 その他 左右の手の協調技術はどうか? 060811 茶碗や皿からこぼさない 060812 協調で効率的動作 060813 手前への引き寄せ動作 060819 その他 マナー 060821 犬食い 060822 手づかみなど 060829 その他 食物の温度などの性状に応じた対応が可能か?熱いものは吹くなど 060831 食物の温度などの性状に応じた対応が可能か 060839 その他 生理機能 概念

VII 飲む

喉の渇き、嚥下機能							
喉が渇けば水分を口に入れるものである							
			各行為について中等度認知症者に特徴的な生活	その生活障害にどのようなケア	その生活障害がある人のFAST		
			障害の具体像	(介助)をしたら上手くいったのか	stage(4を記入)		
1) 液体を飲む場	易に行く: 歩	行·移動					
	070101	液体を飲む場に行く					
	070199	その他					
2) 適切な位置(	に座る:体と	<del>た 格子・</del> 机の位置関係					
	070201	適切な位置に座る					
	070299	その他					
3) 飲み物の認識							
	070301	飲み物だとわかる					
	070302	その性状(温度、粘り度、新鮮さなど)がわかる					
	070399	その他					
4) 口に入れる							
	070401	容器を持つ					
	070402	それを口元に運ぶ					
	070499	その他					
5) 飲み込む							
	070501	口を開けて受ける・吸う					
	070502	飲み込む					
	070599	その他					

### Ⅷ 着衣と履物はき

0902549 その他

概念

生理機能 温度感覚 社会的、生理的に衣類をまとう必要がある 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST (介助) をしたら上手くいったのか 障害の具体像 stage (4を記入) 1) 着衣が置かれた場に行く: 歩行・移動 080101 着衣が置かれた場に行く 080199 その他 2) 身につける衣類の選択 080201 時間、場所などにふさわしい衣類を選ぶ 080202 タンスや引き出しから取り出す 080203 セット化する 080299 その他 3) セットされたものを身につける - 順番:下着から順に上の衣類に移ってゆく 個々の衣類:各パーツがわかる、前後、左右、裏表がわかる 着衣動作:かぶる、はく、前面・後面で合わせる 1. セーターなどかぶるタイプ 0803101 かぶる動作は適切か? 0803102 0803102 0803109 その他 2. 背広・シャツなど前で合わせるタイプ 0803211 両袖に両方の上肢を通せるか? 0803212 ボタン、ファスナーなどをかけられるか? 0803219 その他 3. ズボン・スカートなどはくタイプ 0803321 両脚を中に入れられるか? 0803322 ボタン、ファスナーなどをかけられるか? 0803329 その他 4. 靴下をはく 0803431 足を靴下の中に入れられるか? 0803439 その他 5. 履物をはく 0803541 足を靴の中に入れたり履物に固定したりできるか? 0803542 全体のまとめ 0803543 袖や裾の位置 0803544 上半身と下半身の境目の調整 0803549 その他 IX 脱衣 生理機能 温度感覚 衣類を脱ぐ必要がある 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 1) 着衣が置かれた場に行く:歩行・移動 090101 着衣が置かれた場に行く 090199 その他 2) 身につけているものを脱ぐ 順番:上のものから順に着衣動作:かぶる、はく、前面・後面で合わせる 1. セーターなどかぶるタイプ 0902101 脱ぐ動作は適切か? 0902109 その他 2. 背広・シャツなど前で合わせるタイプ 0902211 ボタン、ファスナーなどを外せるか? 0902212 袖から上肢を抜けるか? 0902213 ボタン、ファスナーなどをかけられるか? 0902219 その他 3. ズボン・スカートなどはくタイプ 0902321 脚を抜けさせられるか? 0902329 その他 4. 靴下を脱ぐ 0902431 靴下から足を抜けさせられるか? 0902439 その他 5. 履物を脱ぐ 0902541 足を靴やその他の履物から外せるか?

生理機能 生理機能はない

100999 その他

概念

衛生概念は保持されているか? 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST (介助) をしたら上手くいったのか 障害の具体像 stage(4を記入) 1) 浴室に移動する: 歩行・移動 100101 浴室に移動する 100199 その他 2) 脱衣 順番:上のものから順に着衣動作:かぶる、はく、前面・後面で合わせる 1. セーターなどかぶるタイプ 1002101 脱ぐ動作は適切か? 1002109 その他 2. 背広・シャツなど前で合わせるタイプ 1002211 ボタン、ファスナーなどを外せるか? 1002212 袖から上肢を抜けるか? 1002213 ボタン、ファスナーなどをかけられるか? 1002219 その他 3. ズボン・スカートなどはくタイプ 1002321 脚を抜けさせられるか? 1002329 その他 4. 靴下を脱ぐ 1002431 靴下から足を抜けさせられるか? 1002439 その他 5. 履物を脱ぐ 1002541 足を靴やその他の履物から外せるか? 1002549 その他 3) 予備洗い 100301 洗面器など容器を手にする 100302 水を汲む 100303 前を洗い流す 100399 その他 4) 浴槽に入る、出る 100401 またいで入る 100402 越えて出る 100499 その他 5) 浴槽につかる 100501 体がつかる姿勢をとる 100502 姿勢を保つ 100599 その他 6) 洗体の用意 100601 タオルやスポンジを用意する 100602 石けんなど洗剤を用意する 100603 洗面器など水を入れる容器を用意する 100699 その他 7) 洗体の実際 100701 タオル・スポンジ等に洗剤をつける 100702 これに水をつける 100703 これを用いて体を洗う 100704 洗面器など用いて洗剤を洗い流す 100799 その他 8) 洗髪 100801 シャンプー・リンスなど洗髪剤を用意する 100802 洗髪剤を髪につける 100803 つけた洗髪剤を頭全体に行き渡らせる 100804 シャワー・洗面器を用いて洗髪剤を洗い流す 100805 この際に閉眼し続ける 100899 その他 9) 拭き取り 100901 タオルを手にする 100902 タオルを用いて体の濡れを拭き取る

XI 移乗

生理機能 生理機能はない 概念 身体を別の場所へ移動させる 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害がある人のFAST その生活障害にどのようなケア (介助) をしたら上手くいったのか 障害の具体像 stage (4を記入) 1) 介護者の意図について 1101101 意図の理解 1101199 その他 2) ベッドから車いす/車の中への移乗の過程 110201 体がベッドから離される 110202 空間を運ばれる 110203 車椅子に乗せられる 110204 14の合可 の内、脚、脚、上放を単何丁の週りか 110204 110205 望ましい肢位を維持する 110206 体が車椅子から離される 110207 空間を運ばれる 110208 ベッド上に乗せられる 110299 その他 3) 自動車の乗り降り 110301 足を地面から車内に上げる 110302 体をかがめてドアの内部に入る 110303 車内に乗り込む 110304 座席に前向きに座る 110305 座席から腰を上げる 110306 ドアの横に移動 110307 ドアを開ける 110308 体をかがめる・座位のままで 110309 ドアの外に脚を出す 110310 頭を下げて地上に両足をつける 110399 その他 XII 座る 生理機能 生理機能はない 体と椅子の位置関係を適切に保って座れるか? 概念 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 \_\_\_\_ その生活障害がある人のFAST その生活障害にどのようなケア 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 1) お尻の位置がポイント 120101 お尻の位置 120199 その他 2) 体幹の位置・姿勢 120201 体幹の位置・姿勢 120299 その他 3) 下肢の位置・向き 120301 下肢の位置・向き 120399 その他 4) 上肢の位置 120401 上肢の位置 120499 その他 5) 座位の維持 体のパーツごとに:評価という観点 120501 ねじれ 120502 位置 120503 姿勢 120504 向き 120505 自圧迫は 120599 その他 XIII 仰臥位 生理機能 生理機能はない ベッドや布団で寝る為に仰向けになる必要がある 概念 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST 障害の具体像 (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 1) 仰向けであること 130101 仰向けであること 130199 その他 2) ベッドや布団などの長軸に体が平行の位置にあること 130201 130299 その他 3) 頭部・体幹・上肢・下肢の姿勢と位置関係が適切であること 130301 130399 その他 4) 自圧迫は 130401 自圧迫は 130499 その他

生理機能 生理機能はない 概念

容姿を整える概念は保持されているか? 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害がある人のFAST その生活障害にどのようなケア (介助) をしたら上手くいったのか 障害の具体像 stage (4を記入) 1) 鏡の前に行く、適切な位置に立つ・すわる:身体と鏡の位置関係 140101 鏡の前に行く 140102 適切な位置に立つ・すわる 140199 その他 2) 髪の形を整える 140201 ブラシ、くしを持つ 140202 ブラシ、くしで髪の形を整える 140203 髪の形を、鏡を見て確認する 140299 その他 3) 化粧品 (化粧水や乳液、下地クリーム、おしろいなど) を順番に適量手やパフに取りだす 140301 化粧品のふたを使う順番にあける 140302 適量の化粧品を手やパフなどに取り出す 140303 化粧品のふたを閉める 140399 その他 4) 化粧品を顔全体にまんべんなくつける 140401 化粧品を顔全体の皮膚にまんべんなくつける 140402 化粧品を眼や唇につくことは避ける 140499 その他 5) 口紅をつける 140501 口紅のふたを開ける 140502 口紅を適量出す(回し出す) 140503 口紅を紅筆に適量つける 140504 唇に紅筆で適量つける 140505 唇の形を紅筆で適切に整える 140506 口紅を戻す(回し入れる) 140507 口紅のふたを閉める 140599 その他 6) まゆずみをつける 140601 まゆずみを適量出す 140602 眉毛にまゆずみを適量つける 140603 眉毛の形をまゆずみで適切に整える 140604 まゆずみをしまう 140699 その他 7) 頬紅をつける 140701 頬紅のふたを開ける 140702 頬紅を適量だけ筆につける 140703 頬紅を頬に適量つける 140704 頬紅のふたを閉める 140799 その他 8) 鏡を見てお化粧の出来栄えを確認する 140801 鏡を見てお化粧の出来栄えを確認する 化粧品(化粧水や乳液、下地クリーム、おしろい 140802 など)を元の位置に戻す 140899 9) 様々な質的異常 化粧品ではないものを使う(例:口紅を頬紅代れ 140901 りに塗ってしまう、眉墨代わりにマジックなど) お化粧の技術的問題(例:口紅が唇からはみ出 140902 す、眉墨のラインが複数できる) の10位に貝です時間が扱い(179 140903 一回に使用する化粧品の量が多い 140904 140999 その他

10) 髭剃り器の置き場に戻す

11) 様々な質的異常

151001 髭剃り器の置き場に戻す

151101 費やす時間が長い(例:髭剃りに数時間費やす人もなど)

151099 その他

151199 その他

XV 男性の髭剃り 生理機能 生理機能はない 身だしなみ・整容として髭を剃ろうと思うか? 概念 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア その生活障害がある人のFAST (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 障害の具体像 1) 鏡の前に行く、適切な位置に立つ・すわる:身体と鏡の位置関係 150101 鏡の前に行く 150102 適切な位置に立つ・すわる 150199 その他 2) 髭剃り器の置き場から髭剃り器本体を取り出す 150201 髭剃り器の置き場から髭剃り器本体を取り出す 150299 その他 3) 髭剃り器のスイッチを入れる 150301 髭剃り器のスイッチを入れる 150399 その他 4) 髭剃り器を正しく持つ 150401 髭剃り器を正しく持つ 150499 その他 5) 刃先を頬や顎に当てる 
 150501
 刃先を頬や顎に当てる

 150599
 その他
 6) 当てた場所の髭を剃る 150601 当てた場所の髭を剃る 150699 その他 7) 次の婆所に刃先を移してゆく 150701 次の婆所に刃先を移してゆく 150799 その他 8) 万遍なく剃れたかどうかを確認する 150801万遍なく剃れたかどうかを確認する150899その他 9) 髭剃り器のスイッチを切る 150901 髭剃り器のスイッチを切る 150999 その他

XVI 義歯洗浄 生理機能 生理機能はない 衛生の概念は保たれているか? 概念 ------その生活障害がある人のFAST 各行為について中等度認知症者に特徴的な生活 その生活障害にどのようなケア (介助) をしたら上手くいったのか stage(4を記入) 障害の具体像 1) 朝の装着 160101 義歯洗浄液と義歯の入ったケースを取り出す 160102 ケースを洗面所に持ってゆく 160103 ケースから義歯を取り出す 160104 水道栓を回して水を出す 160105 義歯全体を水道の流水で洗う 160106 口を開ける 160107 義歯を口の中にはめこむ 160108 ケースをしまう 160199 その他 2) 食後の洗浄 160201 洗面所に行く 160202 口を開ける 160203 義歯を外す 160204 水道栓を回して水を出す 160205 水流の位置に義歯を置く ブラシで我圏で海、、ロン・-は、普通の仕方で歯磨きをする) ブラシで義歯を磨く(自分の歯が残っている場合 160207 ブラシを元の場に戻す 160208 水道栓を回して水を出す 160209 流水をコップに受ける 160210水道栓を回して水を止める160211口に水を吸い込む 160212 口をゆすぐ 160213 口の中から水を出す

3) 就寝前の洗浄

160214 義歯を口の中にはめごむ

160299 その他

160301	義歯ケースを出してくる		
160302	義歯ケースに水を入れる		
160303	義歯洗浄剤(ポリデント)を入れる		
160304	口を開ける		
160305	義歯を口から取り出す		
160306	ブラシを用意する		
160307	水道栓を回して水を出す		
160308	水流の位置に義歯を置く		
160309	ブラシで義歯を磨く		
160310	義歯をケース内に移す		
160311	義歯ケースを元の場に戻す	_	
160399	その他		

4) 様々な質的異常

160401	義歯を入れたまま自前の歯であるかのように磨く		
160402	義歯を外すことを拒否		
160403	義歯専用ブラシで自前の歯を磨く		
160404	義歯洗浄ブラシで髪をとかす		
160499	その他	_	

### 資料 グッドプラクティス (テーマ:食事)























